

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3583316号

(P3583316)

(45) 発行日 平成16年11月4日(2004. 11. 4)

(24) 登録日 平成16年8月6日(2004. 8. 6)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

F I

B 6 5 D 21/06

B 6 5 D 21/06

B 6 5 D 1/38

B 6 5 D 1/38

Z

B 6 5 D 25/28

B 6 5 D 25/28

1 O 2 A

B 6 5 D 25/28

1 O 7

請求項の数 3 (全 10 頁)

|            |                               |           |                     |
|------------|-------------------------------|-----------|---------------------|
| (21) 出願番号  | 特願平11-174835                  | (73) 特許権者 | 392020587           |
| (22) 出願日   | 平成11年6月22日(1999. 6. 22)       |           | 不動技研株式会社            |
| (62) 分割の表示 | 特願平7-154186の分割                |           | 大阪府南河内郡千早赤阪村大字小吹2番地 |
| 原出願日       | 平成7年6月21日(1995. 6. 21)        |           | 1                   |
| (65) 公開番号  | 特開2000-25770 (P2000-25770A)   | (74) 代理人  | 100074561           |
| (43) 公開日   | 平成12年1月25日(2000. 1. 25)       |           | 弁理士 柳野 隆生           |
| 審査請求日      | 平成11年6月22日(1999. 6. 22)       | (72) 発明者  | 大牧 昭太郎              |
| 審判番号       | 不服2001-13954 (P2001-13954/J1) |           | 大阪府南河内郡千早赤阪村大字小吹2番地 |
| 審判請求日      | 平成13年8月8日(2001. 8. 8)         |           | 1 不動技研株式会社内         |
|            |                               | 合議体       |                     |
|            |                               | 審判長       | 粟津 憲一               |
|            |                               | 審判官       | 中西 一友               |
|            |                               | 審判官       | 西村 綾子               |

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 バスケット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部に収納部を有するバスケット本体の相対向する側壁の上縁に、側壁より外方へ向けて延設した取付体に、略コ字状の把手の基端部を回動自在に枢支し、該把手が収納部側に回動して底壁に対して略平行な維持状態を保つべく前記上縁に上方へ開口した支持段部を設け、該支持段部に略平行に載置された把手上に他のバスケットを積層可能となし、把手を外側から下方に回動すると、把手の握持部が枢支点より内側に位置し、重合した場合、上位のバスケットの把手の握持部が下位のバスケットの支持段部に入り込むように設定したことを特徴とするバスケット。

【請求項 2】

把手として、前記支持段部の肉厚分と略同一の肉厚分に設定したものを利用してなる請求項 1 記載のバスケット。

【請求項 3】

バスケット本体として、支持段部の高さで把手の肉厚分を略同一に設定し、また、支持段部に略平行に載置された把手の表面に凹溝を形成するとともに、該凹溝に嵌合し得る突起体を底壁の下面に形成したものを利用してなる請求項 1 又は 2 記載のバスケット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、単品で又は複数のものを上下に積層して使用することができ、小物等の収納物

の整理等に用いることができるバスケットに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の積層可能なバスケットとしては、実開平1-134026号公報に示されているようなものがあり、これを図13、図14を用いて説明すれば、上方へ広がり且つ上方及び前方上部を開放したバスケット本体51の両側上縁52の前後二ヶ所に上方へ開口した凹陷部53を形成するとともに、該バスケット本体51の両側下端に前記凹陷部53に係合し得る突起54を先端下方に形成した支持部材55を側方へスライド出沒自在に設け、前記支持部材55を押込んだ状態でその先端がバスケット本体51の側面と略一致し且つ該支持部材55を引出した状態で両側の突起54間隔を対応する凹陷部53間隔と一致する

10

【0003】

そして上記バスケット56は、次のように作用するものである。先ずバスケット本体51の両側下端に設けた支持部材55を側方へスライドして、該支持部材55の先端上方に形成した突起54を下位のバスケット本体51の両側上縁52に形成した凹陷部53に係合させる。

【0004】

そして複数のバスケット56を上下に積層状態に配し、最上位に位置するバスケット56の上方及び前方上部から物品を出入れするとともに、上位に位置するバスケット56の前方上部から物品を出入れし、更に前記支持部材55を押込んでその先端をバスケット本

20

【0005】

また、バスケット本体51の下面周縁部に突設した高台58に開口59を形成し、該開口59の前後両側部に連続させて断面略L字形の支持片60を下面61に下設して、該開口59から嵌挿した板状の支持部材55を前記支持片60と下面61とで側方へスライド可能に支持するとともに、該支持部材55の上面適所に突設したダボ62が、該支持部材55を側方へ引出した場合に該支持部材55の先端下方の両側突起54間隔と両側上縁52の凹陷部53間隔とが、一致した状態で案内溝63の外側縁に当止し、更に該支持部材55を押込んだ場合にはダボ62が案内溝63内を移動し該支持部材55の先端とバスケッ

30

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、このような従来のバスケットにあっては、下位のバスケットの上縁に設けた凹陷部に、上位のバスケットの支持部材の突起を嵌合して保持するので、一度積層して組み立てた後は、積層したバスケットを取り外すのが非常に面倒であるという問題点があった。

【0007】

また、従来のバスケットにあっては、支持部材という部材が別途必要である上に、支持部材をスライドさせるのに、支持部材の両側を支持する支持片をバスケット底面に立設する

40

【0008】

そこで本発明は以上のような実状に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、バスケットを積層するための別途部材を使用しないとともに、簡単な構造であるにもかかわらず、支持強度に優れ、且つ容易に安定的に積層したり、或いは積層後、容易に取り外すことができるバスケットを提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明者は前述の課題解決のために鋭意研究を行った結果、内部に収納部を有するバスケ

50

ット本体の相対向する側壁の上縁に、側壁より外方へ向けて延設した取付体に、略コ字状の把手の基端部を回動自在に枢支し、該把手が収納部側に回動して底壁に対して略平行な維持状態を保つべく前記上縁に上方へ開口した支持段部を設け、該支持段部に略平行に載置された把手上に他のバスケットを積層可能となし、把手を外側から下方に回動すると、把手の握持部が枢支点より内側に位置し、重合した場合、上位のバスケットの把手の握持部が下位のバスケットの支持段部に入り込むように設定したことを特徴とするバスケットを開発し、本発明を提供するものである。

【0010】

そして、把手として、前記支持段部の肉厚分と略同一の肉厚分に設定したものを利用する方が、後述する効果により望ましい。

10

【0011】

また、バスケット本体として、バスケット本体として、支持段部の高さで把手の肉厚分を略同一に設定し、また、支持段部に略平行に載置された把手の表面に凹溝を形成するとともに、該凹溝に嵌合し得る突起体を底壁の下面に形成したものを利用することがより好ましい実施例である。

【0012】

【作用】

以上の如く本発明に係る請求項1記載のバスケットを用いた場合は、小物等の収納物を収納する場合においては、把手を外側に回動しておけばよく、また他のバスケットを積層する場合には、把手を収納部側に回動して把手を支持段部に載置させる。そして底壁に対して略平行に維持することで、把手が支持部材としての機能を果たし、他のバスケットを積層させることができる。そして積層したバスケットの把手も収納部側に回動することにより、何層でも積層することができ、更に取り外す場合には、上位のバスケットを持ち上げるだけで、極めて容易に取り外すことができる。

20

更に、バスケットを重合する場合は、それぞれのバスケットの把手を外側から下方に回動させると、把手が枢支点より内側に位置するため、上位のバスケットの把手の握持部が下位のバスケットの支持段部に入り込み、把手が邪魔にならず嵩張ることなく複数のバスケットを上下に重合することができる。

【0013】

請求項2記載のバスケットを用いた場合は、バスケットを重合する場合は、それぞれのバスケットの把手を外側から下方に回動させ、一方のバスケットの収納部に他方のバスケットの底壁を重合させると、下位のバスケットの支持段部内に上位のバスケットの把手が装着される。

30

【0014】

請求項3記載のバスケットを用いた場合は、積層されるバスケットの把手の表面に形成した凹溝に、積層するバスケットの底壁の下面に形成した突起体が嵌合するので、積層後、何らかの衝撃があった場合でも、容易に外れることがない。また、積層する際の位置決めが極めて容易に行える。

【0015】

【実施例】

40

以下、添付図面を参照しながら、本発明のバスケットを具体化した実施例について説明する。

【0016】

ここに、図1～図3に示すものは、本発明のバスケットAであり、図1は斜視図、図2は上下に積層する前の状態を示す斜視図、図3は上下に積層した状態を示す斜視図である。

【0017】

本発明のバスケットAは、図1に示すように、内部に収納部3を有するバスケット本体1の相対向する側壁2の上縁4適所に回動自在の把手5を設けるとともに、該把手5が収納部3側に回動して底壁6に対して略平行な維持状態を保つべく前記上縁4に上方へ開口した支持段部7を設け、該支持段部7に略平行に載置された把手5上に他のバスケットAを

50

積層可能とするものである。

#### 【0018】

そして前記支持段部7と把手5との関係について、図1を用いて説明すれば、支持段部7の側縁から外方へ向けて取付体8を延設し、且つ取付体8の両端に略コ字状の把手5を回動自在に取付ける。また把手5は、前記支持段部7の高さよりも越えない肉厚分に設定したものを利用するのである。このように支持段部7の高さと把手5の肉厚分を図1に示す如く、略同一にすれば、二点鎖点に示すように把手5が収納部3側に回動した場合、前記支持段部7の表面に当接して把手5が底壁6に対して略平行に美しく支持され、図1の如くバスケット本体1内方へ突出するのである。また、支持段部7の肉厚分と把手5の肉厚分が略同一に設定することにより、バスケットAを重合する際（図10～図12参照）に

10

#### 【0019】

そして略平行に支持された把手5上に、何ら別部材を加えず他のバスケットAを積層することができるのである。図2は積層前の状態を示す斜視図であって、把手5上に積層しようとするバスケットAの底壁6が当接するとともに、バスケット本体1の後壁の下面後方に挟持部13（図6～図8参照）を設け、積層されるバスケットAの後壁の上縁4に挟持され、図3に示す如く、重心位置を後方にすることができる。従って安定性を高めつつ、積層されるのである。

尚、位置決めを容易にするために、図1～図3に示す如く、把手5の握持部11の表面に凹溝9を形成するとともに、該凹溝9に嵌合し得る突起体10を底壁6の下面側方に形成

20

#### 【0020】

図4及び図5は、前記凹溝9と突起体10との関係を示したものであり、図4は嵌合前の状態を示す拡大斜視図、図5は嵌合状態を示す断面図である。

このように凹溝9と突起体10とが嵌合することにより、安定的にバスケットAが積層できる。また、図5から明らかなように、把手5の短杆12の長さの約半分が支持段部7で支持されているので、積層されて重量が掛かってきても、把手5が収納部3側にしななって垂れてしまうということがない。

#### 【0021】

図6は、本発明のバスケットAの一部省略した底面図であり、前記底壁6の下面後方に挟持部13が形成されている。そして図7及び図8に示す如く、積層されるバスケットAの後壁の上縁4に挟持され、安定的に支持されるのである。このように前記した把手5の凹溝9とバスケット本体1の下面側方に設けた突起体10との嵌合と相まって、より安定度が増すものである。

30

#### 【0022】

次に図9及び図10に示すものは、本発明のバスケットAを他のバスケットAの収納部3に重合する場合を示したものであり、図9は上下に重合する前の状態を示す斜視図、図10は上下に重合した状態を示す斜視図である。

#### 【0023】

図9に示すものは、図2に示す把手5を反対側に回動させたものであり、この状態で矢印の如く上位のバスケットAを移動させれば、図10のように重合することができる。そして重合した場合、図11及び図12のように、重合する上位のバスケットAの把手5の握持部11が下位のバスケットAの支持段部7に入り込み、嵩張ることなく複数のバスケットAを何段にも重合することができる。また、支持段部7の側縁から外方へ向けて延設した取付片8は、断面略逆U字形状となっているので、逆U字部分に指を引っ掛ければ容易にバスケットAを取り外すことができる。

40

#### 【0024】

また、前記バスケット本体1の壁面にメッシュ状の開口を多数形成して通気性を良くしたり、底壁に水切り穴を設けたりして、台所、洗面所及び室内等で家庭用として用いることは勿論、小売店等での商品の陳列、事務室等での書類の整理にも業務用として使用できる

50

。

#### 【0025】

更に、本願発明のバスケットAは、全ての構成を合成樹脂から作製しており、また前壁を開放状態にしたものを図示して説明しているが、バスケットAの形状は、何ら特徴を有するものではなく、いかなるものであっても良い。尚、前壁を開放状態にせず、単純な上方開放のバスケットAの場合は、前記した挟持部13は必ずしも必要ないということは言うまでもない。

#### 【0026】

##### 【発明の効果】

以上の記載より明らかなように、次に記載する効果を奏する。請求項1記載のバスケットによれば、小物等の収納物を収納する場合においては、把手を外側に回転すればよく、また他のバスケットを積層する場合には、把手を収納部側に回転して把手を側壁の上縁に配置させて略水平に維持させることで、把手が支持部材としての機能を果たし、他のバスケットを何層でも積層させることができる。従って、従来のようにバスケットを積層させるための別途部材を使用せずに簡単な構造でもって積層することが可能となった。また取り外す場合には、上位のバスケットを持ち上げるだけで、極めて容易に取り外すことができる。

10

更に、バスケットを重合する場合は、それぞれのバスケットの把手を外側から下方に回転させると、把手が枢支点より内側に位置するため、上位のバスケットの把手の握持部が下位のバスケットの支持段部に入り込み、把手が邪魔にならず嵩張ることなく複数のバスケットを上下に重合することができる。

20

#### 【0027】

請求項2記載のバスケットによれば、バスケットを重合した場合は、下位のバスケットの支持段部内に上位のバスケットの把手の握持部が装着するので、安定感が増すとともに嵩張らない。従って、運搬時や小売店等での商品の陳列等において便利である。

#### 【0028】

請求項3記載のバスケットによれば、支持段部の高さの肉厚分を略同一に設定しているので、把手を収納部側に回転すると、前記支持段部の表面に当接して把手が底壁に対して略平行に美しく支持され、バスケット本体内方へ突出するのである。更に、積層されるバスケットの把手の表面に形成される凹溝に、積層するバスケットの底壁の下面に形成される突起体が嵌合することにより、積層後、何らかの衝撃があった場合でも、ずれて積層状態が崩れないのである。また、位置決めが極めて容易に行えるので、迅速且つ確実に積層することができる。

30

##### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るバスケットの斜視図

【図2】本発明に係るバスケットを上下に積層する前の状態を示す斜視図

【図3】本発明に係るバスケットを上下に積層した状態を示す斜視図

【図4】把手の凹溝と底壁の突起体とが嵌合する前の拡大斜視図

【図5】把手の凹溝と底壁の突起体とが嵌合した状態を示す断面図

【図6】本発明に係るバスケットの一部省略した底面図

40

【図7】挟持部と上縁とが挟持する前の状態を示す一部断面した拡大斜視図

【図8】挟持部と上縁とが挟持した状態を示す断面図

【図9】本発明に係るバスケットを上下に重合する前の状態を示す斜視図

【図10】本発明に係るバスケットを上下に重合した状態を示す斜視図

【図11】把手の握持部がバスケット本体の支持段部に入り込んだ状態を示す拡大斜視図

【図12】図11におけるa-a断面図

【図13】従来のバスケットを上下に積層した状態を示す斜視図

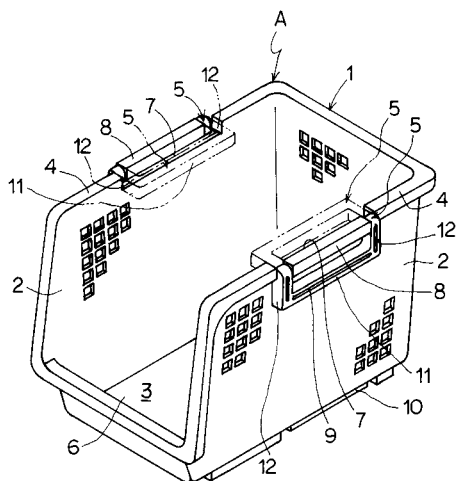
【図14】従来のバスケットの両側下端にスライド出没自在に支持部材を装着する状態を示す要部の分解斜視図

##### 【符号の説明】

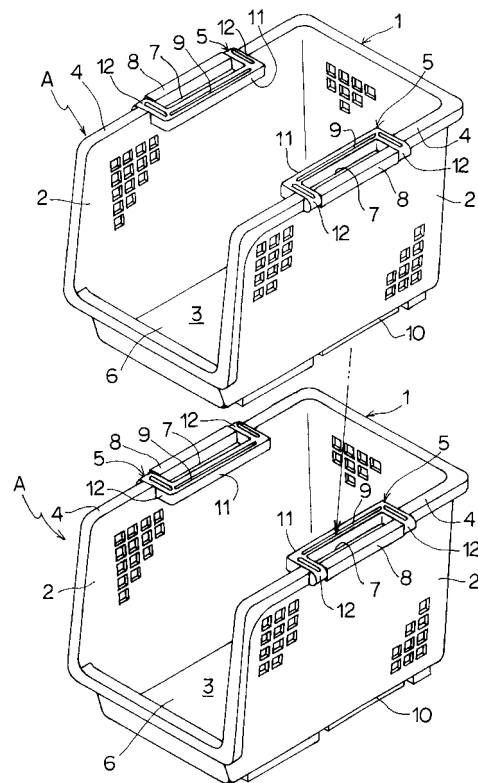
50

- |    |         |    |       |
|----|---------|----|-------|
| A  | バスケット   | 2  | 側壁    |
| 1  | バスケット本体 | 4  | 上縁    |
| 3  | 収納部     | 6  | 底壁    |
| 5  | 把手      | 8  | 取付体   |
| 7  | 支持段部    | 10 | 突起体   |
| 9  | 凹溝      | 12 | 短杆    |
| 11 | 握持部     |    |       |
| 13 | 挟持部     |    |       |
| 51 | バスケット本体 | 52 | 上縁    |
| 53 | 凹陷部     | 54 | 突起    |
| 55 | 支持部材    | 56 | バスケット |
| 57 | 収容空間    | 58 | 高台    |
| 59 | 開口      | 60 | 支持片   |
| 61 | 下面      | 62 | ダボ    |
| 63 | 案内溝     |    |       |

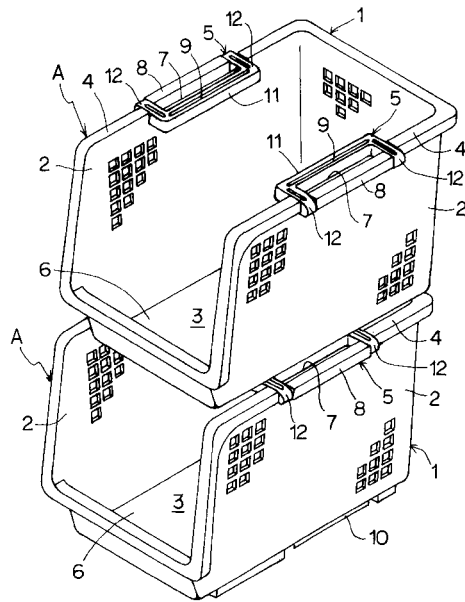
【図 1】



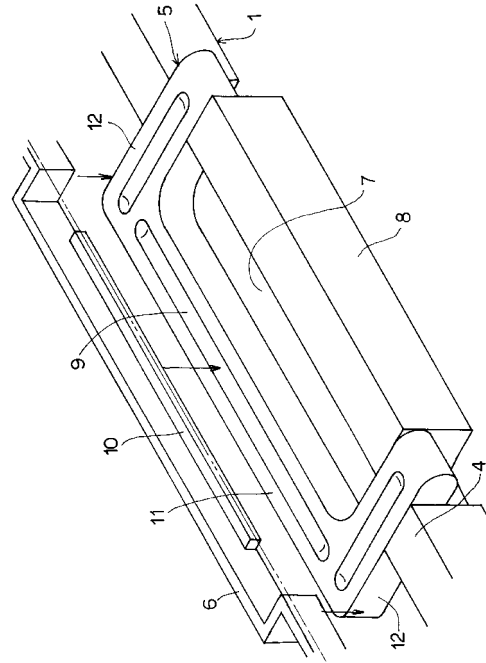
【図 2】



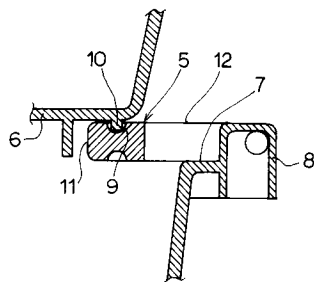
【図 3】



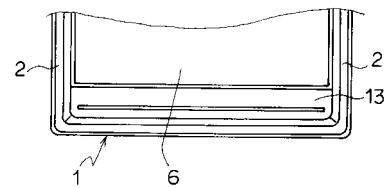
【図 4】



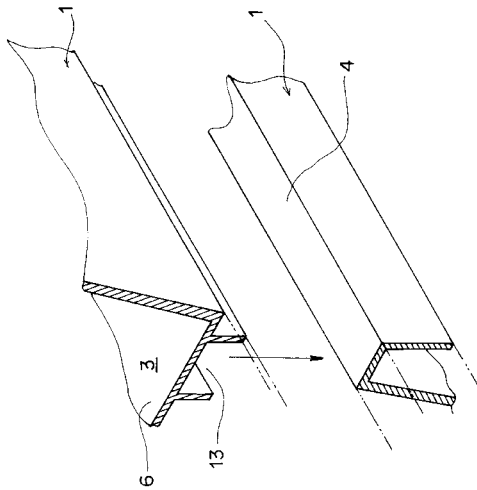
【図 5】



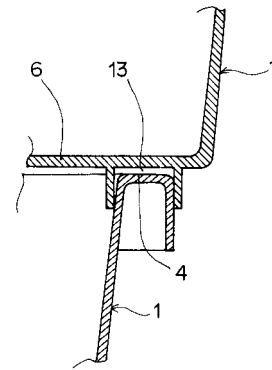
【図 6】



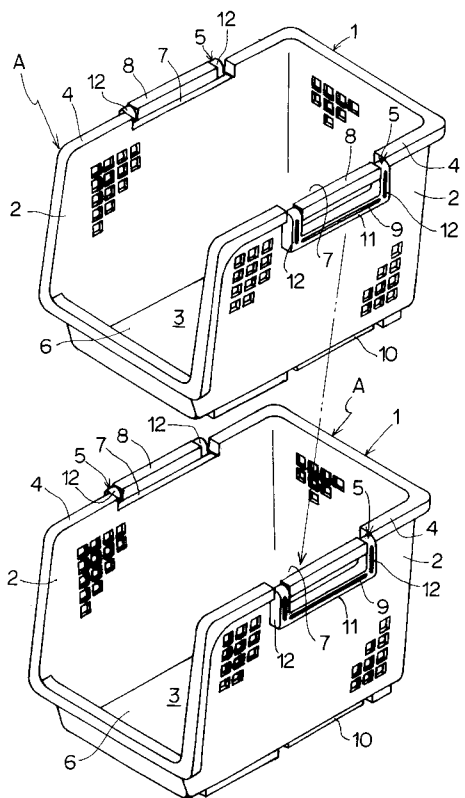
【図 7】



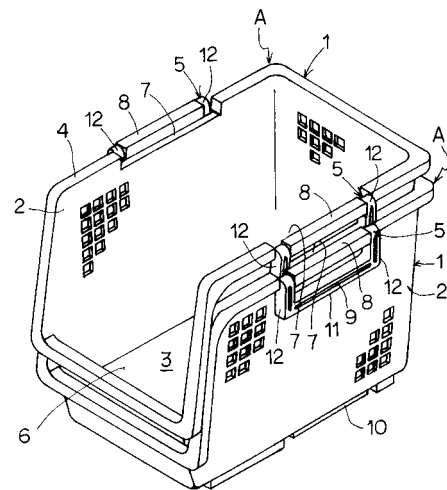
【図 8】



【図 9】

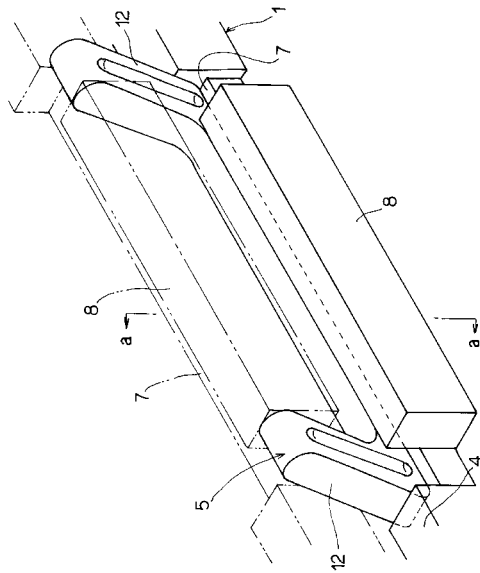


【図 10】

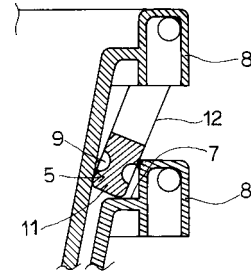




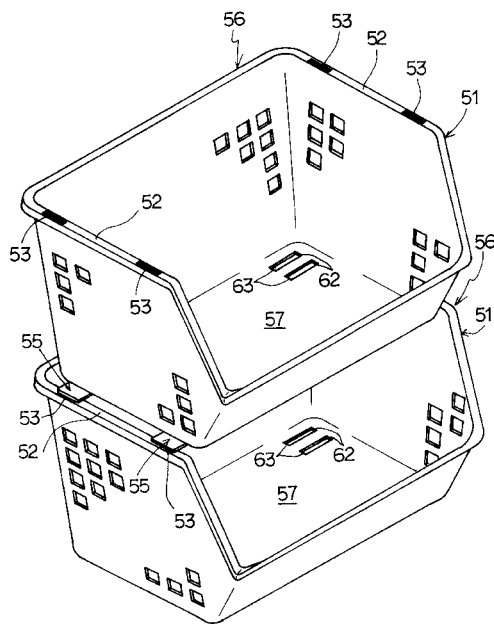
【図 1 1】



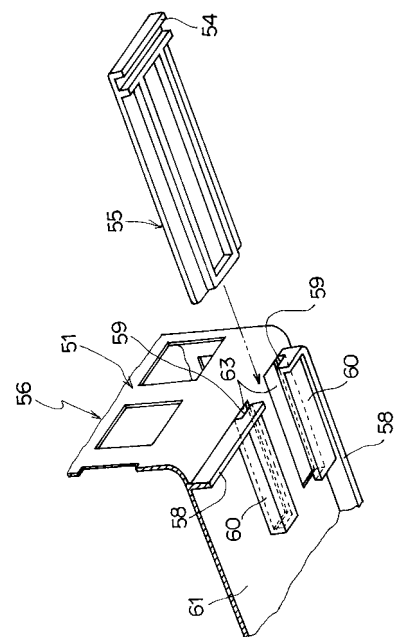
【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】



---

フロントページの続き

- (56)参考文献 実開昭57-188636 (JP, U)  
実開昭59-55124 (JP, U)  
実開昭59-106330 (JP, U)  
実開昭52-136836 (JP, U)  
実公昭34-6677 (JP, Y2)  
実開昭54-70730 (JP, U)  
実開昭59-188836 (JP, U)